

九州高校の「卓然自立」を具現化するための3年間のロードマップ(3年間の教育プランに関すること)

※建学の精神は九州高校にとって普遍的なものであり、全ての教育活動はこの建学の精神を達成するために活動内容を設定しています。

学年	月	行事等	授業を中心とした教育活動に関すること	学校生活及び行事に関すること	自身の適正進路の発見とその方法
第1学年	4	・入学式 ・中村治四郎杯 ・アンビシャスキャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・建学の精神、教務に関する基本方針、教育目標を理解する。 ・授業の在り方と評価方法、主体的学習について理解する。 ・授業規律の説明と指導および1週間の生活スケジュール(部活と家庭学習の両立等)を作成する。 ・朝読書への取り組み方について理解する。 <p>アンビシャスキャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校での目標を明確にし、主体的に学ぶ意義を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導における基本方針を理解する。(礼儀作法、マナー指導) ・他者に対する寛容性の意義とその態度を身に付ける。 ・いじめ防止、人権感覚と意識を醸成する。 (多様性への理解および寛容さを持ち・自己肯定感を高める) ・自主的に規則正しく衛生的な生活を送る意義を理解する。 ・部活動の目的と目標について理解する。(加入に向けた心構え) <p>アンビシャスキャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規律ある集団生活を体験することにより、協調・奉仕・友愛の精神を養い、九州高校生として自覚と誇りを身に付ける。 	<p>自分の将来像を広く・深く適切に考える準備として、日々の学びの重要性を認識するとともに、自分の興味・関心、得意・不得意、理想の未来像に気付き、自己発見の大切さを理解する。</p> <p>アンビシャスキャンプ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の進路決定の開始にあたり、自立の重要性や有用性を理解する。 <p>スタディーサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自身の基礎学力や学習行動、学習習慣の特徴を測定する。
	5		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日実施の読書の意義と取り組み方について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会および委員会活動を理解する。 	<p>R-Cap※1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・興味や価値観を可視化し、個人の適性や志向を把握することで、客観的に自身を知る手掛かりとする。
	6	・文化祭 ・1学期考査 ・第1回人権学習	<ul style="list-style-type: none"> ・文理選択の基本方針と各コースのアイデンティティーを理解する。 <p>文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合唱に取り組む中で、クラスが一体となり目標達成を目指し、協働する力を身につける。 	<p>文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢や社会問題に関心を持つ。 	<p>探究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ探究するのか?」「問いの立て方」のWSから、探究を進めるための基礎をつくる。また、「なぜ学ぶのか?」のWSから、探究と日々の学びとの関係を知り、授業を重要と考えることができるようになる。(※2)
	7	・三者面談 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 	<p>人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権感覚と意識を醸成する。 	<p>探究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「なぜ探究するのか?」「問いの立て方」のWSから、探究を進めるための基礎をつくる。また、「なぜ学ぶのか?」のWSから、探究と日々の学びとの関係を知り、授業を重要と考えることができるようになる。(※2)
	8	・夏期課外 ・2学期始業式	<ul style="list-style-type: none"> ・考査後の反省、今後の目標を設定する。 	<p>夏期休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活を継続し、高校生としての基本的な生活習慣を確立する。 	<p>ベネッセ総合学カテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高校での学びに適應できているかを測定し、高校型の学習習慣を強く意識させる。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール	<p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な課題について道徳的に向き合い、議論しながら決断する力を身につける。 	<p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体力の向上、安全に行動する能力の育成、規律ある集団行動を身に付ける。 ・上級生の取り組みを学び、下級生として成功に向けてフォローする。 	<p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームワークの大切さを知り、チームの一員としての行動がとれるようになる。
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙 ・2学期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 	<p>生徒会選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員として、全体に奉仕する意識と態度を身に付ける。 	<p>探究(キャリアデザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R-Capの結果から、自身が知らない自身を多面的に捉え、広い自己分析ができるようになる。
	11	・第3回オープンスクール	<ul style="list-style-type: none"> ・考査後の反省、今後の目標を設定する。 	<p>暴力団排除教室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・暴力団排除、薬物乱用防止の必要性を理解する。 	<p>スタディーサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学後の半年を振り返り、高校生へと変化・成長したことを実感し、改めて学習行動の見直しを行い、問題点を把握する。
	12	・芸術鑑賞会 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外 ・第2回人権学習	<p>芸術鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。 ・関連する書物を読み、興味関心を持って鑑賞に臨む態度を養う。 	<p>人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの人権について理解する。 	<p>探究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学問/職業のWCに取り組むことで、「選ぶ」際のコツをつかみ、自身の進路選択のスキルを向上させることができるようになる。(※3)
	1	・3学期始業式	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 	<p>冬期休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・校内外において、ルール・モラルを意識した生活を送る。 	<p>ベネッセ総合学カテスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・確立した高校型学習のスタイルが、思考力を伸ばすために学習の質を転換できているか、振り返り新たな課題を発見する。
	2	・3学期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・考査後の反省、今後の目標を設定する。 	<p>人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者理解と身近な人権について理解する。 ・人に対して受容的な態度を身に付ける。 	<p>スタディーサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一年間の学びの成長を実感し、一年間の抜けや漏れを測定し、春期休業や2年生での目標設定を行う。
	3	・第3回人権学習 ・修了式	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 	<p>クラスマッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団での連帯感を深め、自主的・実践的な態度を身につける。 	<p>※1R-Cap: 職業適性診断のことです。 ※2WS: ワークショップ ※3WC: ワールドカフェ</p>

学年	月	行事等	授業を中心とした教育活動に関すること	学校生活及び行事に関すること	自身の適正進路の発見とその方法
第2学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の学習方法と授業の評価方法を理解する。 ・1週間の生活スケジュール(部活と家庭学習の両立等)を作成する。 ・授業規律と主体的に学ぶ意味を再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中堅学年としての責任感と主体性を持つ。 ・自分らしさの確立と協働する態度を持つ。 ・級長会を通して自主性・主体性を発揮する。より良い学校生活が送れるよう意見を出し、検討する。みんなが責任ある行動を取れるようクラスに呼びかける。 	<p>自分の将来像をミスマッチなく考えるため、情報収集や学部研究、多くの選択肢をもつことの大切さや、自分の進路意識の高さが重要であることを知り、自己探求に努める態度を持つ。</p> <p>スタディーサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進級後に1年間の学習における努力を振り返り、自身の学力・学習力の定着度を測定し、再スタートを成功させる。
	5		<p>芸術鑑賞会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本古来の芸能文化に触れ、伝統を重んじる態度を養う。 	<p>文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の問題点に目を向け、当事者意識を持って積極的に活動に参加する。 	<p>文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論や準備を通して、社会貢献に積極的かつ主体的に取り組む意欲を持つ。
	6	・文化祭 ・1学期考査 ・第1回人権学習	<p>文化祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科学習の実践の場と捉え、学んできた内容を活用し、チームとしての探究活動を深める。 	<p>人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者尊重と協働意識を醸成する。 	<p>PROG-H(社会で求められる汎用的な能力・態度・志向を測定するテスト)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジェネリックスキルを多面的に評価でき、知識を活用して問題を解決する力や、他者との良い関係をもたらそうとする力を測定し、今後の高校生活の目標設定に用いる。
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外		<p>夏期休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員であることを自覚し、規範意識を持って生活できる。 	<p>探究(キャリアデザイン)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望理由書を書くことで、自身が進路選択に際して理解していないところを洗い出し、オープンキャンパスでの答え探しに繋げる。PROG-Hの結果進路選択において効果的に進められるようになる。
	8	・夏期課外 ・2学期始業式		<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の世代交代により、リーダーとしての自覚を持って運営する。 	<p>ベネッセ総合学力テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望校との距離を確認する。学習における個々の課題を洗い出し、対応する力を養う機会として夏の学習の動機付けの機会とする。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール	<p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な課題を自分のこととして捉え、集団に貢献しようとする意識を高める。 	<p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己をコントロールする力、相手を尊重する態度、礼儀を重んじる心、克己心などを醸成する。 ・事前活動からリーダーシップとフォローシップを持つ。 	<p>体育祭</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見の違いを乗り越え、チームで成し遂げられるよう主体的に行動する。
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙 ・2学期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省、今後の目標を設定する。 	<p>生徒会選挙</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会役員として、全体に奉仕する意識と態度を身に付ける。 	<p>探究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGsをテーマにすることで、自身と社会を繋げて考えることができるようになり、問いを立て、分析し評価し、更なる問いを立てることで、探究活動を一回り行う。これにより、社会貢献意識や自己有用感を高め、社会に必要とされる人物になろうという姿勢が生まれる。
	11	・第3回オープンスクール ・修学旅行	<p>修学旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで学んできたことを横断的に活用することで研修をより充実させる。 	<p>修学旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行の事前指導を通して協働する力を身に付ける。 ・修学旅行を通して主体的に行動し、自己を高める気概や他者に対する寛容性を持つことを実践する。(ミッション・コンプリート型修学旅行) 	<p>スタディーサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験に備えて学力や学習力の定着の確認と、改善を行うための定点観測を行う。
	12	・三者面談 ・第2回人権学習 ・2学期終業式 ・冬期課外	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省、今後の目標を設定する。 	<p>人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同和問題の理解と自己の在り方を構築する。 	<p>修学旅行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員という認識を持ち、自ら社会の中の課題を探究することの楽しさを理解する。
	1	・3学期始業式		<p>献血活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会の一員であることを自覚し、社会に貢献していることを認識する。 	<p>ベネッセ総合学力テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5教科での出題による志望大学を意識した学習のスタートにあたり、受験における基礎・基本の定着度を確認し、理解していることやできることを確認する。
	2	・3学期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・進路目標に合った科目選択ができる。 	<p>冬期休業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の在り方や公衆道徳について考え、積極的に法令を遵守する。 	<p>ベネッセ総合学力テスト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・志望大学に対する学習を行う上で、受験学年に向けた総まとめとして、理解していることやできることをどこまで使っているかを測定する。
	3	・第3回人権学習 ・修了式	<ul style="list-style-type: none"> ・3年生0学期の意義について理解する。 ・3年次に選択する科目を決定する。 	<p>人権学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦争・紛争における人権侵害問題を理解する。 	<p>大学入学共通テスト模試</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学入学共通テストへの早期からの準備として、大学入学共通テスト模試を体験し、早期の意識付けと対策の計画立てを行う。

学年	月	行事等	授業を中心とした教育活動に関すること	学校生活及び行事に関すること	自身の適正進路の発見とその方法
第3学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	・各教科の学習方法と授業の評価方法について理解する。 ・1週間の生活スケジュール(部活と家庭学習の両立等)を作成する。 ・授業規律と主体的に学ぶ意味を再認識する。	・目標達成のため全員で最後まで諦めずやり抜く決意をする。 ・最上級生として学校行事に取り組む姿勢を持つ。 ・各部活動における目的と目標を設定する。 ・「成人」としての意識や態度を確立する。 ・通して自主性・主体性を発揮する。より良い学校生活が送れるよう意見を出し、検討する。みんなが責任ある行動を取れるようクラスに呼びかける。	自分の将来像が現実となるよう、ミスマッチなく自分軸で学校種や学部・学科・コースを選ぶとともに、計画的に選抜制度を選択できるよう進路実現に向けた具体的な努力を継続する態度を持つ。 スタディーサポート ・受験に対応できるだけの学力や学習力が備わっているか、学習習慣が定着しているかを測定し、改善の指標とする。
	5	・1学期中間考査	文化祭 ・社会的な責任の重さを理解し、報告・連絡・相談を密に行い、慎重に計画を進める。	文化祭 ・全校生徒が自主的・主体的な活動ができるようリーダーシップを示す。 文化的で創造的な活動ができるよう導く。	探究 ・志望理由書を作成することで、自身の進路希望が適切であるか、他者の評価を得ながら考えることで、ミスマッチなき進路選択ができるようになる。
	6	・文化祭 ・第1回人権学習 ・1学期期末考査	知・徳・体の調和と生涯に渡って学び続ける人材の育成	人権学習 ・公正な就労に関する人権について理解する。	地域社会への貢献を基盤とした希望進路の実現 ・計画や準備を通して、これまでの学びの実践の場として、異なる意見をまとめながら成功に向けて努力を重ねる。
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外		クラスマッチ ・自発的・自治的な活動を展開することで、集団における自身の役割を全うできるようになる。	総合学力記述模試 ・受験学年スタートにあたり、現在の位置を確認し、学力における今後の課題を発見する。
	8	・夏期課外 ・2学期始業式		夏期休業 ・規則正しい生活設計を立て、自律的で意欲的な生活が送れるようになる。	大学入学共通テスト模試 ・本格的な共通テスト対策のスタートにおける各自の課題の発見と、夏休みに向けた学習目標や受験計画の策定を行う。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール ・第2回人権学習	体育祭 ・集団を正しい方向に導くために、プレゼンテーション能力を高め、チームの全員が達成感や充実感を得られるよう努力する。	体育祭 ・日頃の教育活動で学んだことを活かし、全校生徒が自ら考え行動できるようリーダーシップを示す。	総合学力記述模試 ・適切な第一志望校の選択や、二年間の復習の機会とし、秋以降の学習に向けた意識の切り替えを行う。また、秋以降の受験対策に効果的に役立てる。
	10	・第2回オープンスクール ・2学期考査		人権学習 ・社会における人権侵害問題について理解し、人権啓発意識を確立する。	体育祭 ・集団の中での役割を自ら見つけ、互いの意見を尊重し、協働性を身に付ける。
	11	・第3回オープンスクール	特別時間割 ・共通テスト直前特別時間割実施の意味を理解して授業に取り組む。	献血活動 ・献血活動による社会貢献の意義を理解する。	大学入学共通テスト模試 ・夏休みまでの努力の観測と併せ、合格可能性判定による志望校の絞り込みを行い、学びの集大成のための方向性を確認する。
	12	・特別時間割 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外	特別授業 ・私立、国公立二次入試対策特別授業実施の意味を理解し必要な授業を選択する。合格に向けて努力を継続する。 ・自宅学習期間についてそれぞれがその意味を十分理解し、有意義に活用する。	自動車免許取得について理解する。	総合学力記述模試 ・第一志望校合格のために必要な記述力の測定と、今後の対策の改善を行い、高校生活の集大成を目指す。
	1	・3学期始業式 ・大学入学共通テスト ・二次対策特別授業		冬期休業、自宅学習期間 ・高校卒業後の生活を見据え、倫理観や規範意識を持ち、一人一人が充実した生活を送ることができる。	大学入学共通テスト模試 ・合格可能性判定による受験校決定と、ラストスパートに向けた抜けや漏れの把握から、共通テストに対する最終確認を行い、冬期休業中の学びでの修正に役立てる。
	2	・大学入試			年内入試合格者対象の入学前教育 ・学校推薦型選抜や総合型選抜に合格した生徒を対象に、アウトプットを中心としたアクティブ・ラーニングにより、深い学びに取り組み、大学生になる準備を行う。
	3	・卒業式			

九州高校の「卓然自立」を具現化するための3年間のロードマップ(「科」及び、「クラス(コース)」に関すること)

※建学の精神を達成するために、各科および各コースの個性に応じた目標とその達成のための活動内容を設定しています。

学年	月	行事等	普通科				造形芸術科
			S特進クラス(コース)	特進クラス(コース)	準特進クラス(コース)	進学クラス(コース)	
第1学年	4	・入学式 ・中村治四郎杯 ・アンビシャスキャンプ	・各教科のオリエンテーションを踏まえ、黄金サイクル(予習・授業・復習)を実践する。 ・HRやコース別集会等を通して難関国立大学現役合格に向けたレベル感を自分の中に取り入れる。	・各教科のオリエンテーションを踏まえ、黄金サイクル(予習・授業・復習)を実践する。 ・HRやコース別集会を通して国公立大学現役合格に向けたレベル感を自分の中に取り入れられる。	・中学校と高校の違いを理解し、高校生としての学習習慣や生活規律を身に付ける。 ・適性検査を通して、自己の知らない一面を垣間見ること、進路選択の可能性を広げる。 ・学校種と入試制度を理解し、進路決定に向けた3年間を見通す。	・中学校と高校の違いを理解し、高校生としての学習習慣や生活規律を身に付ける。 ・適性検査を通して、自己の知らない一面を垣間見ること、進路選択の可能性を広げる。 ・学校種と入試制度を理解し、進路決定に向けた3年間を見通す。	・生活規律と専門学科独自の目標を理解する。 ・3年後を見据えた進路ガイダンスを行い、より計画的に進路目標を設定し、進路実現を図る。 ・専門教科に取り組む姿勢や課題提出の重要性を理解する。
	5		・クラスやコース、仲間の存在価値を考え、帰属意識を持つことができる。 ・考査を通してより主体的に学習活動に取り組める。	・クラスやコース、仲間の存在価値を考え、帰属意識を持つことができる。 ・考査を通してより主体的に学習活動に取り組める。	・一連の探究プログラムを通して、次年度のコース選択と文理選択について、深く考える。	・適性検査を通して、自己の知らない一面を垣間見ること、進路選択の可能性を広げる。 ・学校種と入試制度を理解し、進路決定に向けた3年間を見通す。	・美術館での鑑賞会を通して、美術的感性を磨くと共に鑑賞マナーを身に付ける。
	6	・文化祭 ・1学期考査 ・第1回人権学習	・文化祭においてクラスの団結を通し、その大切さを実感する。	・文化祭においてクラスの団結を通し、その大切さを実感する。	・スタサポの結果や7月模試の受験を通して、中学校と高校の学びの違いを再認識し、1学期間の学習の見直しと、復習を行う。	・スタサポの結果や7月模試の受験を通して、今の自分の学力を知り、新たな課題を発見する。 ・R-Capの結果から学問、職業の適性を考察し、文理選択について、深く考える。	・美術館での鑑賞会を通して、美術的感性を磨くと共に鑑賞マナーを身に付ける。
	7	・三者面談 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外	・アカデミックキャンプにおける先輩との関わりの中で、クラスやコースの繋がりが絆、伝統を知り、後輩としての態度を確立させると共に文理選択や志望校について考える。	・特進アドバイスを通して先輩との交流を育みながら、充実した高校生活へのヒントを得る。	・実現したい進路に応じたコース・文理選択を考える。	・実現したい進路に応じたコース・文理選択を考える。	・美術の様々な分野を知る事で学部・学科の選択、また進路目標の設定につなげる。
	8	・夏期課外 ・2学期始業式	・学校支援協力隊への参加により他者貢献の意識を高め責任感を持って実践する。	・佐賀大学体験会を通して大学及び大学生の実際に触れ、学習意欲や進路意識を高める。	・これまでの自身の興味・関心が表面的なものであることに気付き、より細分化された学問/職業のうち、自身の興味・関心を具体的に考える。	・これまでの自身の興味・関心が表面的なものであることに気付き、より細分化された学問/職業のうち、自身の興味・関心を具体的に考える。	・体育祭バックボードの集団制作を通して、協調性の向上及び感性を育成する。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール		・学校支援協力隊への参加により他者貢献の意識を高め責任感を持って実践する。	・学部研究を通して、それぞれの学部の違いを認識しようとする姿勢を身に付け、進路選択の可能性を広げる。	・学部研究を通して、それぞれの学部の違いを認識しようとする姿勢を身に付け、進路選択の可能性を広げる。	・校外での制作活動(スケッチ大会)を通して、日常の授業では体験できない美術的感性を育成する。
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙 ・2学期考査	・文理説明会や卒業生講話から、文理の違いと学部、学科の特徴をさらに明確にし、自分の選択に活かせる。	・特進チュートリアルを通して先輩の偉大さを知り、後輩としての素養を高める。	・11月模試の受験を経て、学習の振り返りを行ない、冬期休業中の学習計画を行う。	・11月模試の受験を経て、学習の振り返りを行ない、冬期休業中の学習計画を行う。	
	11	・第3回オープンスクール	・学習の黄金サイクルを確立できている。				
	12	・芸術鑑賞会 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外	・第1回志賀中補充学習会を通して他者貢献の態度を向上させる。	・英語暗唱大会を通して、人前で堂々と発表する態度を養う。	・1月模試の受験を通じて、1年間の学びの抜け・漏れを確認し、春休みの学習計画を行う。	・1月模試の受験を通じて、今の自分の学力を知り、2年次のコースを決定する。	・授業作品展を通して、対外的作品発表の意義を知ると共に、作品制作の意欲向上を図る。
	1	・3学期始業式	・共通テスト同日体験を受験することで、難関国立大学合格までの道のりを認識する。				
	2	・3学期考査	・第2回志賀中補充学習会を通して1回目の経験をもとにした自己成長実感を獲得する。	・共通テスト同日体験を受験することで国公立大学合格までの道のりを認識する。	・中堅学年になるにあたって生活態度や学習姿勢を向上させる。	・中堅学年になるにあたって生活態度や学習姿勢を向上させる。	・2年次からの選択授業に適正に取り組むことができる実技スキルを身に付ける。
	3	・第3回人権学習 ・修了式	・中堅学年になるにあたっての学習に対する姿勢や生活態度を向上させる。	・中堅学年になるにあたっての学習姿勢や生活態度を向上させる。			・現時点での志望校を決定することにより、今後の活動計画に活かす。 ・実技授業の課題は必ず提出できる。

学年	月	行事等	普通科				造形芸術科
			S特進クラス(コース)	特進クラス(コース)	準特進クラス(コース)	進学クラス(コース)	
第2学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	・難関国立大学現役合格に向けた意志を明確に持つ。 ・新たなクラスを作り上げる態度を持つ。 ・学習の黄金サイクルがルーティン化されており、部活動との両立ができる。	・国公立大学現役合格に向けた意志を明確に持つ。 ・新たなクラスを作り上げる態度を持つ。 ・学習の黄金サイクルがルーティン化されており、部活動との両立ができる。	・2年生としてふさわしい生活習慣、授業規律を身に付け、新たなクラスを作り上げる態度を持つ。 ・自身の特性や興味関心に対する理解を深め、大学で学ぶ学問系統の決定に向けた研究をスタートする。 ・学びたい学問とそれを学べる大学の候補を複数持つ。	・2年生としてふさわしい生活習慣、授業規律を身に付け、新たなクラスを作り上げる態度を持つ。 ・自身の特性や興味関心に対する理解を深め、大学で学ぶ学問系統の決定に向けた研究をスタートする。 ・学びたい学問とそれを学べる大学の候補を複数持ち、夏のオープンキャンパスに向けた準備を進める。	・造形芸術科(総合会館)での生活規律と専門学科独自の目標を再度確認し理解を深める。 ・2年後を見据えた進路ガイダンスにより、進路目標を設定する。 ・難易度の高い授業(課題制作)に取り組むことで、美術的知識・課題制作スキルの向上を図る。
	5					・作品制作だけでなく、思考力の強化とプレゼン能力を育成する。	
	6	・文化祭 ・1学期考査 ・第1回人権学習	・文化祭では、クラスでの協働により組織や一人ひとりの特性について正しく考察できる。	・文化祭では、クラスでの協働により組織や一人ひとりの特性について正しく考察できる。	・適性検査によりリテラシー、コンピテンシーを測定し、今後の高校生活を目標設定する。	・適性検査によりリテラシー、コンピテンシーを測定し、今後の高校生活を目標設定する。	・校外(美術館)での鑑賞会を通して、美術的感性を育成する。
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外	・アカデミックキャンプにおける先輩との関わりの中で、第1志望校を明確に持つことの意味を理解する。行事を運営することで、リーダーとしての振る舞い方を学ぶ。	・特進アドバイスを通して先輩としての態度を育み、自身の生活をも充実させるきっかけとする。	・7月模試の受験を通して、国数英の学習の到達度を知ることで、夏休みの学習計画を行う。	・スターディーサポートの結果から学力・学習力の定着度を認識し、今後の取り組みに活かす。	・体育祭バックボードの集団制作を通して、協調性の向上及び感性を育成する。
	8	・夏期課外 ・2学期始業式	・体育祭では中堅学年としてのリーダー性を発揮する。	・特進メッセージを通して先輩の考え方を知り、進路希望及び選択の真の意味を考える。	・オープンキャンパスや各種説明会への参加を通し、大学進学をより具体的にイメージする。また、大学進学後の成長イメージを持つ。	・オープンキャンパスや各種説明会への参加を通し、上級学校への進学をより具体的にイメージする。また、進学後の成長イメージを持つ。	・PCを利用した課題制作を通し、より実践的な制作方法を学ぶ。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール	・駿台全国模試を受験することで、全国での立ち位置を把握し、今後の取り組みに活かす。	・体育祭では中堅学年としてのリーダー性を発揮する。	・SDGsに関する探究学習を通して、社会とのつながりを意識し、現在の高校での学びと将来の大学での学び、その先に思いを巡らせ、将来像から逆算した自分の成長イメージを持つ。そして、今、自分がやるべきことを強く意識し、学校生活を送る。また、グループワークを通じて、様々な価値観に触れ、多様性への理解を深める。	・SDGsに関する探究学習を通して、社会とのつながりを意識し、現在の高校での学びと将来の学び、その先に思いを巡らせ、将来像から逆算した自分の成長イメージを持つ。そして、今、自分がやるべきことを強く意識し、学校生活を送る。また、グループワークを通じて、様々な価値観に触れ、多様性への理解を深める。	・校外での制作活動(スケッチ大会)を通して、日常の授業では体験できない美術的感性を育成する。
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙 ・2学期考査	・異文化に触れ感動的な体験を通し、新たな価値観を取り入れる。	・修学旅行での経験を活かし、より主体的な学校生活を送る。	・11月模試から理科・社会の受験が始まるため、志望大学への進学実現に向けた、受験科目の検討を開始する。	・11月模試から理科・社会の受験が始まるため、志望大学への進学実現に向けた、受験科目の検討を開始する。	・美術研修旅行(修学旅行)において、様々な美術研修を行い、知識を深め感性を磨く。
	11	・第3回オープンスクール ・修学旅行	・修学旅行での経験を活かし、より主体的な学校生活を送ることができる。	・英語スピーチ大会を通し、他者を納得させる発表(プレゼン)ができる。			
	12	・三者面談 ・第2回人権学習 ・2学期終業式 ・冬期課外	・三者面談で第一志望校を将来設計との関連性を踏まえ明確にすることができる。	・三者面談で第一志望校を将来設計との関連性を踏まえ明確にすることができる。	・共通テスト同日体験により、志望校の合格レベルとの差異を自覚し、その後の学習に活かす。	・共通テスト同日体験により、志望校の合格レベルとの差異を自覚し、その後の学習に活かす。	・デッサンにより実技入試に対応する画力を身に付ける。
	1	・3学期始業式	・共通テスト同日体験により、志望校の合格レベルとの差異を自覚し、その後の学習に活かす。	・共通テスト同日体験により、志望校の合格レベルとの差異を自覚し、その後の学習に活かす。	・進路実現に向けた心構えと具体的な進路実現のための動きを確認し、次年度1年間の計画を立て、終業式以降、受験勉強を開始する。	・進路実現に向けた心構えと具体的な進路実現のための動きを確認し、次年度1年間の計画を立て、終業式以降、受験勉強を開始する。	・九産大卒業制作展を見学することで、大学での学習内容を理解する。
	2	・3学期考査	・北予備講師及び本校卒業生の講話から受験生として自分と将来をより明確にする。	・北予備講師及び本校卒業生の講話から受験生として自分と将来をより明確にする。	・1年後の受験を見据え、目標設定をより明確に行った上で、模試を受験し、春休みの学習計画を行う。	・1年後の受験を見据え、目標設定をより明確に行った上で、模試を受験し、春休みの学習計画を行う。	・授業作品展を通して、対外的作品発表の意義と知ると共に、作品制作の意欲向上を図る。
	3	・第3回人権学習 ・修了式	・学習に、自分独自の意欲と志を加える。	・学習に、自分独自の意欲と志を加える。	・最上級生になるにあたり、学校運営の中核になることを自覚する。	・最上級生になるにあたり、学校運営の中核になることを自覚する。	・卒業制作の講座を決定する。同時に美大の受験学部・学科も決定する。

学年	月	行事等	普通科				造形芸術科
			S特進クラス(コース)	特進クラス(コース)	準特進クラス(コース)	進学クラス(コース)	
第3学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	・将来設計を見据えたうえで、明確な理由のある第一志望校をあげる。 ・1年間の模試受験を計画できる。共通テスト本番までの目標点を段階的に設定する。 ・九州模試受験(第1回)により記述力を把握し、授業への真剣度を高める。	・将来設計を見据えたうえで、明確な理由のある第一志望校をあげる。 ・1年間の模試受験を計画できる。共通テスト本番までの目標点を段階的に設定する。 ・九州模試受験(第1回)により記述力を把握し、授業への真剣度を高める。	・最上級生として自覚と責任を持った学校生活を送る。 ・1年間の入試スケジュールを確認し、具体的な学習計画を立てる。 ・受験校決定に向け、第一志望大学への進学の目標をさらに明確にする。また、併願校を複数持つために、大学進学の方角性を確立する。	・最上級生として自覚と責任を持った学校生活を送る。 ・1年間の入試スケジュールを確認し、具体的な学習計画を立てる。 ・受験校決定に向け、第一志望大学の志望理由書を書くことで、進路希望の適正さや進学目標をさらに明確にする。また、第二、第三志望校との比較、併願も視野に入れ、進学の方角性を確立する。 ・受験のフローチャートを作成し、受験校、受験形態、併願校や受験時期を時系列に合わせて、把握する。	・造形芸術科(総合会館)での生活規律と専門学科独自の目標を再度確認し、最上級生としての責任感を持つ。 ・第一志望合格に向けてのプランを作成する。 ・自主的、主体的に授業に取り組む。作品制作に対する責任感を養うとともにアイデンティティを確立する。 ・デッサンにより実技入試に対応する画力を身に付ける。
		5	・1学期中間考査	・共通テストに向けた自学の確立と授業を中心とした二次試験への学習バランスを両立する。	・共通テストに向けた自学の確立と授業を中心とした二次試験への学習バランスを両立する。	・三者面談で、受験校を決定するために、受験校と受験形態を考える。特に、一般選抜において、国公立大学の後期試験までの受験や、私立大学の共通テスト併用型の活用や、併願数を検討する。 ・入試に関する手続きのスケジュールを確認し、夏休みを活用して準備を進める。	・校外(美術館)での鑑賞会を通して、美術的感性を育成する。
	6	・文化祭 ・1学期期末考査	・アカデミックキャンプで先輩としての視座、視点、視線が洗練され、人としての幅を広げる。	・意味や意義を理解して防衛大学校へ出願する。	・より明確な受験勉強のイメージを持って、日々の学習に臨む。	・三者面談において、受験校決定に向け各学校の受験条件や推薦基準等を確認する。 ・入試に関する手続きのスケジュールを確認し、夏休みを活用して準備を進める。 ・オープンキャンパスや受験前指導(WCV 等)へ参加し、受験校の最終決定につなげる。	・三者面談において、受験校決定に向け各学校の受験条件や推薦基準等を確認し、推薦入試出願校の最終決定につなげる。 ・推薦による受験校決定後、その形態に即した学習を継続して行う。
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・夏期課外	・特定大学の模試を受験することで第一志望校に向けた学習に真摯に取り組む。	・特進メッセージを通して進路選択の真の意味を語り、希望をゆるがぬものとする。 ・特進チュートリアルを通して使命感や自己肯定感、自信を得る。	・9月マーク、10月記述、11月マーク、西南大・福大ブレなどの模擬試験を活用し、計画、実行、修正を繰り返して受験勉強を進める。	・受験校決定後、面接練習、志望理由書作成、小論文添削、プレゼンテーション作成、受験科目の学力強化など、受験に向けた取り組みを継続して行う。	・体育祭バックボードの集団制作を通して、協調性の向上及びリーダーシップを育成する。
	8	・夏期課外 ・2学期始業式	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・特定大学の模試を受験することで第一志望校に向けた学習に真摯に取り組む。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・校外での制作活動(スケッチ大会)を通して、日常の授業では体験できない美術的感性を育成する。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・意味や意義を理解して防衛大学校へ出願する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。
	10	・第2回オープンスクール ・2学期考査	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・特進メッセージを通して進路選択の真の意味を語り、希望をゆるがぬものとする。 ・特進チュートリアルを通して使命感や自己肯定感、自信を得る。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・卒業制作展の企画・準備・運営等の一連の業務を通して、対外的作品発表の意義と展覧会業務の流れを知る。
	11	・第3回オープンスクール	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・意味や意義を理解して防衛大学校へ出願する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。
	12	・特別時間割 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・特進メッセージを通して進路選択の真の意味を語り、希望をゆるがぬものとする。 ・特進チュートリアルを通して使命感や自己肯定感、自信を得る。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。
	1	・3学期始業式 ・大学入学共通テスト ・二次対策特別授業	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・特進メッセージを通して進路選択の真の意味を語り、希望をゆるがぬものとする。 ・特進チュートリアルを通して使命感や自己肯定感、自信を得る。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。
	2	・大学入試	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・特進メッセージを通して進路選択の真の意味を語り、希望をゆるがぬものとする。 ・特進チュートリアルを通して使命感や自己肯定感、自信を得る。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。
	3	・卒業式	・九州模試(第2回)で記述力の向上を確認し、今後の学習に対する意欲を高める。 ・防大受験の経験から、学習の精度を高める。 ・河合塾共通テストファイナルの受験により、共通テストに向けた取り組みを明確にする。	・特進メッセージを通して進路選択の真の意味を語り、希望をゆるがぬものとする。 ・特進チュートリアルを通して使命感や自己肯定感、自信を得る。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。	・三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。

九州高校の「卓然自立」を具現化するための3年間のロードマップ(学年に関すること)

※建学の精神は九州高校にとって普遍的なものであり、全ての教育活動はこの建学の精神を達成するために活動内容を設定しています。

学年	月	行事等	授業を中心とした教育活動に関すること	学校生活及び行事に関すること	自身の適正進路の発見とその方法
第1学年	4	・入学式 ・中村治四郎杯 ・アンビシャスキャンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・自主的学習とスケジュール管理 ・スタディーサポートに向けて計画的に学習に取り組む。 ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と考査への目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性への理解および寛容さを育み、個人の自己肯定感を高める。 ・アンビシャスキャンプの意義 規律ある集団生活を体験することにより、協調・奉仕・友愛の精神を養い、九州高校生としての自覚と誇りを身につける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディーサポートに向けて計画的に学習に取り組む。 ・現時点での進路目標を確認する。
	5				
	6	・文化祭 ・1学期考査 ・第1回人権学習	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を絶てる。 ・考査後の反省と2学期への目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭 ・社会情勢や社会問題に関心を持つ ・必要な情報を取捨選択し、自らの考えを他者に分かりやすく伝える表現力やプレゼンテーション能力を身につける。 	自主的に伸びようとする自立した進路意識の醸成
	7	・三者面談 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、校外模試の結果を通して、夏期休業中の自学習の計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> 体育祭 ・上級生の取り組みを学び、下級生として体育祭成功の下支えをする。 オープンスクール ・「学校支援協力」の活動を通じて学校行事に貢献する。 生徒会選挙 ・新たなリーダーとしての意識を持つ。 	
	8	・夏期課外 ・2学期始業式			
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール			
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙 ・2学期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と考査への目標を設定する。 ・スタディーサポートによる現在の学習状況を把握し、学習習慣を改善する。 	<ul style="list-style-type: none"> 芸術鑑賞会 ・観劇を通して、芸術文化についての理解を深め、豊かな情操を育む。 	
	11	・第3回オープンスクール			
	12	・芸術鑑賞会 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外 ・第2回人権学習	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と3学期の目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 人権学習 ・価値観はそれぞれであり、正しさはそれぞれの都合に合わせてものであることを知り、相互理解の必要性を深める。 ・人は他者から多くのことを学んでいることを知る ・自分の視野を広げるとともに、人に対して受容的な態度を身に付ける。 	
	1	・3学期始業式			
	2	・3学期考査	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年0学期の意識を持つ。 		
	3	・第3回人権学習 ・修了式	<ul style="list-style-type: none"> ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と2年生に向けての目標を設定する。 		

学年	月	行事等	授業を中心とした教育活動に関すること	学校生活及び行事に関すること	自身の適正進路の発見とその方法
第2学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	進路・生徒両指導部との連携による主体的授業規律の実践	多様性を理解し仲間や社会に貢献する態度の育成	人生設計としての進路の自覚と進路行事の理解
	5				
	6	・文化祭 ・1学期考査 ・第1回人権学習			
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外			
	8	・夏期課外 ・2学期始業式			
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール			
	10	・第2回オープンスクール ・生徒会選挙 ・2学期考査			
	11	・第3回オープンスクール ・修学旅行			
	12	・三者面談 ・第2回人権学習 ・2学期終業式 ・冬期課外			
	1	・3学期始業式			
	2	・3学期考査			
	3	・第3回人権学習 ・修了式			
			<ul style="list-style-type: none"> ・自主的学習とスケジュール管理 ・スタディーサポートに向けて計画的に学習に取り組む。 ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と考査への目標を設定する。 ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と2学期への目標を設定する。 ・定期考査、校外模試の結果を通して、夏期休業中の自学学習の計画を立てる。 ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と考査への目標を設定する。 ・スタディーサポートによる現在の学習状況を把握し、学習習慣を改善する。 ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と3学期の目標を設定する。 ・3学年0学期の意識を持つ。 ・考査前の学習計画を立てる。 ・考査後の反省と3年生に向けての目標を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさが出せる新クラスと仲間づくり。 ・自分のつよみを見つける。 ・豊かな人間性と逞しい体を身に付ける。 ・文化祭に向けて新クラスでの意識を作る。 ・学校行事に対して、リーダーとして関わる意識を高める。 ・修学旅行に向けての意識を持つ。 (修学旅行を総合探究の学習の場にする) ・2年生としての体育祭実施に向けて、事前活動からリーダーシップとフォローシップを持つ。 ・「次は自分たちの番なんだ」という気持ちを持って、体育に臨み、体育祭を通して信頼できる仲間をつくる。 ・総合探究と合わせながら修学旅行事前学習を行う。 ・部活動の世代交代による、リーダーとして自覚する。 ・生徒会役員として、全体に奉仕する意識と態度を身に付ける。 ・「ミッションコンプリート型」の修学旅行において、互いに信頼できる環境を作る。 ・献血活動に参加をつのり社会の一員であることを意識する。 ・クラスマッチにおいて、クラスの団結心を養い、スポーツを通じてコミュニケーション力を高める。 ・最終学年になるにあたっての意識の確立をする 	<ul style="list-style-type: none"> ・新クラス(文系・理系)での将来像を考える。 ・スタディーサポートに向けて計画的に学習に取り組む。 ・現時点での進路目標を確認する。 ・総合探究と修学旅行をすり合わせる。 ・夏期休業中に上級学校の情報を収集する。 ・大学別の説明会に参加する。(オープンキャンパスへの参加) ・総合探究と合わせながら修学旅行の事前学習を行う。 ・大学等の講義に参加し、自分の大学生活を描く。 ・スタディーサポートによる現在の学習状況を把握する。 ・校外模試を積極的に受験する。 ・現時点での進路目標と受験形態を確認する。

学年	月	行事等	授業を中心とした教育活動に関すること	学校生活及び行事に関すること	自身の適正進路の発見とその方法			
第3学年	4	・1学期始業式 ・中村治四郎杯	知・徳・体の調和と生涯に渡って学び続ける人材の育成	自立した社会人として逞しく生き抜く人材の輩出	地域社会への貢献を基盤とした希望進路の実現	●自主性・主体性を発揮する。 授業や読書、ホームルームなど、「なぜ、何のためにやるのか」を考え、自ら進んで志を持って取り組むことができる。	●学年集会(結団式)の実施。 コースやクラスを超えて、最終学年を迎え、共に志の実現を目指す仲間として目標を確認し、結束して最後まで全員で諦めずにやり抜く決意をする。クラスや学年としての一体感を高める。	●将来に向け、夢と希望を持った第一志望をあげることができる。
	5	・1学期中間考査				●級長会の実施。 自主性・主体性を発揮する。より良い学校生活を送れるよう意見を出し、検討する。みんなが責任ある行動を取れるようクラスに呼びかける。	●文化祭 最上級生として文化祭の意義をしっかり共有し、様々な企画を通してリーダーシップを発揮する。	●コース別集会の実施。 進路の実現に向けて、受験は団体戦であることを認識し、クラスやコースごとの結束を強め、全員で合格を目指すことを意識する。
	6	・文化祭 ・第1回人権学習 ・1学期期末考査				●三者面談 進路の実現に向けて、保護者・担任の三者と志望校や将来の夢を共有し、合格を目指して取り組む決意をする。	●クラスマッチ クラスの団結力だけでなく、相手を尊重する精神を育み、学年団の一体感を高め、より学年の結束・成長を目指す。	●志望の理由を明確に説明できる。
	7	・三者面談 ・1学期終業式 ・アカデミックキャンプ ・夏期課外				●共通テスト特別時間割 共通テスト直前特別時間割実施の意味を理解して授業に取り組む。	●体育祭 これまでの日々の学校生活や行事などを通じて学んだこと、学年団の結束力を発揮する。最後まで諦めずに一丸となって成功を目指す姿で、後輩に背中を見せる。	●6月マーク模試 志望校に対する自分の学習到達度を分析・把握し、その対策を検討する。
	8	・夏期課外 ・2学期始業式				●特別授業 私立、国公立二次入試対策特別授業実施の意味を理解し必要な授業を選択する。合格に向けて努力を継続する。	●卒業式 3年間にふさわしい、卓然と自立した姿を見せる。	●夏期課外、家庭学習では、受験を意識した具体的な取り組みを行う。
	9	・体育祭 ・第1回オープンスクール ・第2回人権学習				●自宅学習 それぞれがその意味を十分理解し、この期間を有意義に活用する。		●受験校決定後、面接練習、志望理由書作成、小論文添削、プレゼンテーション作成、受験科目の学力強化など、受験に向けた取り組みを継続して行う。
	10	・第2回オープンスクール ・2学期考査						●受験結果により、自己成長の実感を持つ。
	11	・第3回オープンスクール						●三者面談で、受験校と受験形態を踏まえて、私立大学の出願校を決定する。
	12	・特別時間割 ・三者面談 ・2学期終業式 ・冬期課外						●大学入学共通テスト受験後の自己採点を参考にして、国公立大学前期および後期の出願校を決定する。
	1	・3学期始業式 ・大学入学共通テスト ・二次対策特別授業						●合格後の学習について「進学に備えた学習」と「高校での学習の学び直し」を行う
	2	・大学入試						
	3	・卒業式 ・大学入試						